

報告第10号

令和5年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画並びに予算の報告について

地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、令和5年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画並びに予算について、別紙のとおり報告する。

令和5年6月9日提出

宇治市長 松村 淳子

4 公財宇野活第 2 1 0 号  
令和 5 年 3 月 3 1 日

宇治市長  
松村 淳子 様

公益財団法人宇治市野外活動センター  
代表理事 杉本 厚夫



令和 5 年度公益財団法人宇治市野外活動センター  
事業計画及び収支予算について

令和 5 年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画及び収支予算を別紙の通り定めたので報告します。

議案第4号

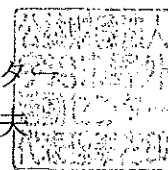
令和5年度公益財団法人宇治市野外活動センター  
事業計画について

令和5年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画を別紙のとおり定めることについて、議決を求める。

令和5年3月23日提出・可決

公益財団法人宇治市野外活動センター

代表理事 杉 本 厚 夫



令和5年度

事業計画

公益財団法人宇治市野外活動センター

## I. 年度事業方針

公益財団法人宇治市野外活動センターは野外活動を通して Well-being（健幸）な社会の実現を目指して各事業を展開する。主たる事業として宇治市総合野外活動センター「アクトパル宇治」（以下アクトパル宇治）の指定管理者として施設の管理運営に取り組む。

アクトパル宇治は豊かな自然を生かし、市民各層の交流と余暇時間の有効活用を図るとともに、過疎化の進む地域の振興を図ることを目的として設置された。

当法人はお客様がアクトパル宇治を創り育てる人となっていただけるよう、Make it together をキーワードにして、笠取の自然の中で豊かな心や公共心を涵養できるよう施設の管理運営を行ってきた。引き続き公益法人として、これまで培ってきた経験を生かしお客様の満足度を高めることでアクトパル宇治のリピーター・ファンを増やすとともに、環境保護への取り組みや教育の充実を図るため、SDGs の考え方を取り入れた事業を展開する。

公募での指定管理者選定を経て、5年間の指定管理契約の2年目となる令和5年度においても次の3つのミッションを事業実施の目標とする。

- 豊かな自然の中で野外活動を楽しみながら日常生活を見直し、環境について考える機会を提供する。
- 自ら学び自ら考える力を育むことができる教育施設として、活動の場を提供する。
- 地域に根づいた事業を展開し、笠取地域の活性化、宇治市さらには近隣地域のグリーン・ツーリズムに貢献する。

令和4年度は契約内容の見直しや業務の効率化、デジタル化をすすめてきたが、令和5年度においても必要経費の削減と業務内容の見直しをすすめ、より効率的な施設運営に努める。また、高騰する電気料金や燃料費の影響を軽減するため、お客様にも無駄のない施設利用を呼びかけ節約に努める。

新型コロナウイルス感染症の影響による制限が徐々に軽減されていくことを見据え、これまで制限していた炊事棟等の利用制限を見直し、コロナ前の利用者数水準を目指す。

設備面においては安全性の確保を第一に修繕整備を適宜行い、また積立金が満期を迎える陶芸窯を更新することでお客様により満足度の高いプログラムを提供する。

食堂売店運営・清掃・植栽業務を委託する有限会社笠取ファームとは密な連携を継続し、農業体験、ふるさと体験事業を中心に笠取地域の魅力発信、地域振興に取り組む。

現指定管理期間以降も継続して施設運営にあたることを見据え、令和5年度から10年間の長期運営計画を新たに策定し計画的・安定的な経営を目指す。

## Ⅱ. 事業内容

### 1. 指定管理業務

宇治市より「宇治市総合野外活動センターアクトパル宇治」の指定管理業務を受託する。

#### (1) 活動支援事業

お客様が施設を利用されるにあたり、円滑な活動ができるよう活動の紹介やオンラインでの情報発信などにより支援を行い、体験を希望される際にはその実施について調整を図る。

より充実した活動プログラムの開発を行うための野外活動に関する最新情報の収集を行う。

#### 活動支援事業例

○天体観察での天文プログラムの実施

○陶芸や木工作品等の創作活動の指導・助言

- ・令和5年度よりお客様のニーズや木材等、原材料費の高騰に対応するため、創作活動プログラムのリニューアルをはかる。

○農業体験やふるさと体験等の紹介

○林間学校・スポーツ合宿等でのプログラム相談

○Webでの情報発信

- ・ホームページで細かな情報発信を行う。
- ・令和4年度より SNS (instagram twitter facebook) を毎日更新しており、フォロワーも増えてきており (令和5年1月現在 instagram 463人、twitter 293人、facebook 598人)、令和5年度も継続して情報発信に努める。



## (2) 野外活動奨励事業

市民が気軽に野外活動に親しめる機会を提供するとともに、幅広い層に野外活動センターの利用が促進されることを目指して予約不要のイベントを開催する。

来場のお客様に事前予約不要の工作プログラムを提供することで利便性の向上と工作プログラムのPRにつなげる。

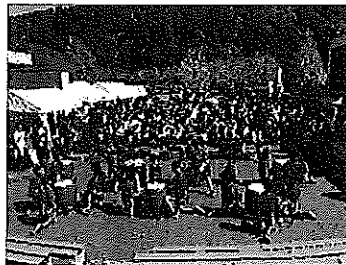
### 事業一覧

春まつり、アクトパルであそぼう！

山であそぼう！、秋まつり、ハロウィンをたのしもう！、わいわいホリデー、

体育館であそぼう、笠取交湯会、新春笠取市、つくってあそぼう、

星空オープンデー、春・秋のグラウンド・ゴルフデー



## (3) 活動体験事業

丁寧なサポートと充実したプログラムを提供するために、定員を設けた有料イベントを年間約50イベント企画・実施し、生涯学習の推進を図る。

親子で参加しやすい初心者向けの単発プログラムを中心とする一方、野外活動に深く興味を持ってもらう連続企画や年間を通じた登録制のクラブも実施する。

### ① 自然・文化・農業

笠取ならではの自然を生かした体験や農業体験、また笠取に古くから伝わる文化に触れる体験イベント。

### 事業一覧

春の野草探しとヨモギ団子づくり、田んぼ体験（連続企画：田植えから収穫まで）、

お茶摘み&製茶とティータイム、じゃがいも掘り&クッキング、

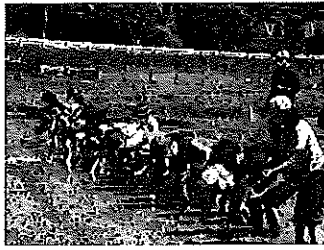
虫ムシキャンプ、さつまいも掘り&クッキング、ふるさとを味わおう、

畑体験（連続企画：玉ねぎとじゃがいも～植え付けから収穫まで～）、

秋のピクニック、ミニ門松&ミニ鏡餅づくり&もちつき、

冬のぽかぽかハイキング、しいたけの菌打ち体験、

天文教室、グラウンド・ゴルフ大会

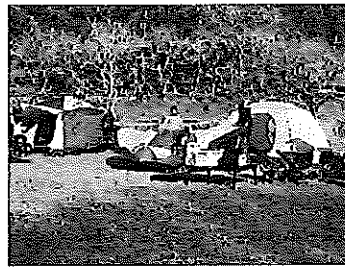


## ② アウトドア体験

初心者がアウトドアを楽しむためのちょっとしたコツをアドバイスして、アクトパルの炊事棟やキャンプ道具をご利用いただきスキルアップできるイベント。

### 事業一覧

冬キャンプのすすめ、親子 de キャンプ、  
燻製をたのしもう！、アウトドアクッキング（生地からのピザ作り）、  
炭火で焼くバウムクーヘン、冬のアウトドアクッキング（ダッチオーブンで簡単調理）、  
ダッチオーブンでケーキをつくろう！、BBQをたのしもう！、  
アウトドアクラブ（年5回連続企画）

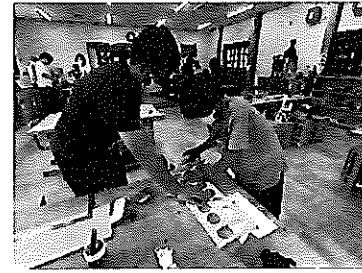
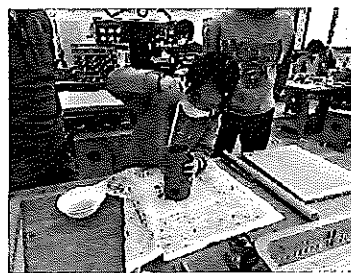


## ③ 手作り体験

施設近辺で取れる自然素材を使ったり、工作棟で電動工具や陶芸窯を使ったりとアクトパルならではの手作り体験ができるイベント。親子で協力する作品づくりや大人だけでも楽しい作品づくりなど目的に応じて参加できる。

### 事業一覧

陶芸教室入門編、夏休み親子工作デー、藍染でバッグづくり、そば打ち体験、  
手打ちうどん教室、流しそうめんセットをつくろう！、  
クリスマスリースづくり、陶器のランタンづくり、陶芸教室ろくろ編  
冬の木工教室、陶芸クラブ（年間登録制）





#### (4) 宇治市総合野外活動センター管理運営事業

お客様に安全・安心、快適に施設を利用していただけるよう維持管理を行い、施設を良好に管理する。あわせて、施設使用の予約受付から申請許可、使用料の徴収等、施設運営に係る業務を行う。

教育活動、レクリエーション活動の場として学校・団体利用の促進をはかるとともに、お客様満足度の向上や地域貢献につながる事業を展開し、コロナ禍前の令和元年度ベースの利用者数・使用料収入を目指す。

##### 【令和5年度重点実施目標】

###### ○学校利用の促進

- ・市外、府外の小学校の利用を促進するため、利用案内やチラシの送付等、広報を強化する。近年、アクセスのよい大阪府内（高槻市、守口市、寝屋川市、島本町等）からの小学校の利用も増加しており、引き続き林間学習の招致を強化する。
- ・茶摘み体験、笠取の歴史等、地域の特色を生かした小学校向けの体験学習・教育プログラムを提案する。

###### ○各種利用プランの提案

- ・初めてのお客様にもわかりやすく施設利用を案内するため、食事や宿泊、体験プログラムをセットにしたプランを提案し、利用促進につなげる。利用の少なくなる冬期のおすすめプランとして鍋料理、星空観察、創作活動等を組み合わせたプランを販売し冬場の利用を促進する。

###### ○グラウンド・ゴルフ回数券の販売

- ・グラウンド・ゴルフ愛好家をはじめ、幅広い層にご利用いただけるよう回数券を販売し、グラウンド・ゴルフの利用促進につなげる。

###### ○会議システムの整備

- ・研修室においてワーケーション利用や企業や学校の会議スペースとしても活用できるようにリモート会議の設備を整える。

###### ○団体、企業との連携

- ・eco ット宇治と共同で行っている森林保全活動「どんぐりプロジェクト」を継続し、里山環境保全の取り組みを広める。
- ・福祉施設、団体にイベント協力や利用促進を働きかける。
- ・環境保護や野外教育に関心のある企業に事業への協賛を働きかける。

#### ○陶芸窯の更新

- ・工作棟に備え付けの電気陶芸窯は施設開設以来 20 年以上の使用で、修理を重ねてきたが劣化が進み機能が低下している。陶芸窯を更新するために積み立ててきた資金で新たに購入し、陶芸プログラムの効率的な運用、利用者の満足度向上につなげる。

#### ○新型コロナウイルス感染症への対応

- ・新型コロナウイルス感染症の影響縮小に伴い、炊事棟等の施設利用制限を解除し利用促進につなげる。
- ・感染拡大時には予防策等、状況に応じて対策を講じる。

#### ○お客様意見・クレームへの対応

- ・施設ご利用のお客様にアンケートやインタビューを実施し、ご要望や不満な点をくみあげ改善につなげる。また、お客様からのクレームには丁寧に対応し、貴重なご意見として前向きに受けとめる。

#### ○施設修繕の取り組み

- ・アスレチックや常設テントの劣化部分の修繕をはじめ、安全に施設をご利用いただけるよう適宜点検・修繕を実施する。
- ・大規模修繕については宇治市と協議の上、実施に向けた調整を図る。

#### ○市内公共施設との連携

- ・山間地域で高齢者も多い笠取地域の皆様に気軽に利用いただけるよう、宇治市立図書館と連携し図書配本サービスを提供し地域サービス向上に貢献する。

## 2. その他自主事業

施設外でのイベント開催や外部事業者との提携を図るなど、設置施設の枠組みにとらわれない柔軟な事業展開を行う。

食堂及び売店運營業務を有限会社笠取ファームに委託し、地域の特色を生かした食事提供や物品販売を行う。

新たな貸出物品の追加や備品の設置により、お客様のニーズにこたえ利便性を高める。

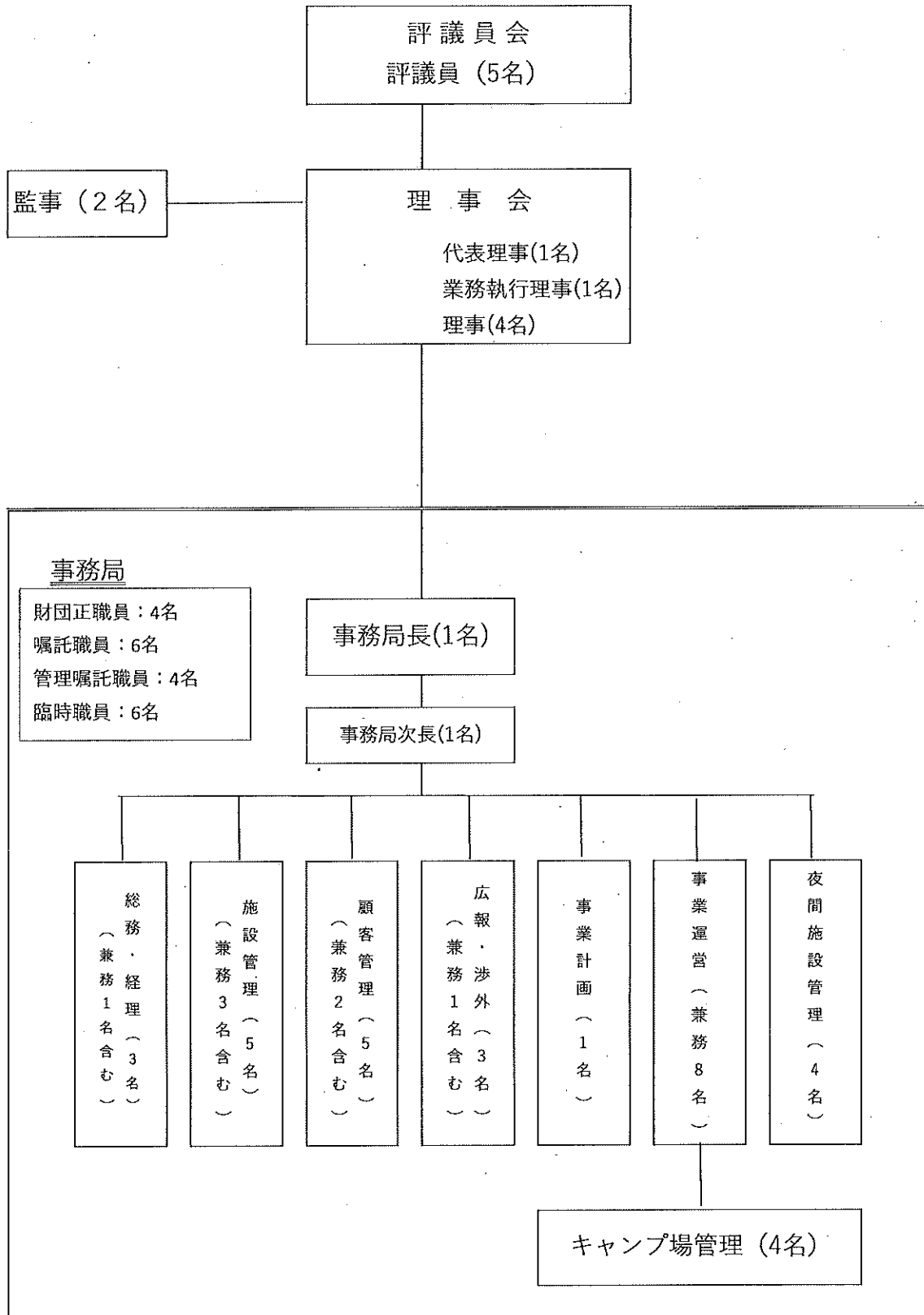
### 事業例

- ・ 出前教室、出張プログラム（木工や七宝焼きなど工作棟での体験を施設外で行う）
- ・ ウェディング事業者とタイアップした野外結婚式のサポート
- ・ 有料貸出物品の充実（バッテリー、カセットコンロ、焚き火用耐火シート、アウトドアチェア等）

### 【公益目的事業と収益等事業】

宇治市総合野外活動センターの運営事業、その他事業において、野外体験活動や学校教育活動などを目的とした利用は公益目的事業、それ以外の宿泊施設のみの利用や企業への貸会場などは収益等事業とする。

【組織図】



議案第5号

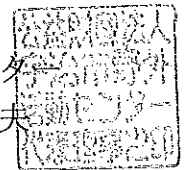
令和5年度公益財団法人宇治市野外活動センター  
収支予算について

令和5年度公益財団法人宇治市野外活動センター収支予算を別紙のとおり定めることについて、議決を求める。

令和5年3月23日提出・可決

公益財団法人宇治市野外活動センター

代表理事 杉 本 厚 夫



令和5年度

収支予算

公益財団法人宇治市野外活動センター

**収支予算書**（損益ベース）  
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	4,000	10,000	△ 6,000
事業収益			
指定管理料収益	113,551,000	110,021,000	3,530,000
利用料金収益	34,635,000	34,061,000	574,000
自主事業収益			
材料費収益	2,480,000	1,800,000	680,000
奨励事業収益	239,000	269,000	△ 30,000
活動体験事業収益	3,528,000	3,354,000	174,000
その他自主事業収益	400,000	900,000	△ 500,000
受取寄付金			
受取寄付金	100,000	100,000	0
雑収益			
雑収益	100,000	100,000	0
経常収益計	155,037,000	150,615,000	4,422,000
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	52,246,043	51,395,083	850,960
臨時雇賃金	7,754,000	6,052,000	1,702,000
退職給付費用	6,607,645	3,023,530	3,584,115
福利厚生費	9,219,645	8,934,171	285,474
食糧費	249,000	129,000	120,000
旅費交通費	2,250,000	2,221,000	29,000
通信運搬費	931,000	1,642,000	△ 711,000
減価償却費	381,000	143,242	237,758
消耗品費	5,092,000	5,141,000	△ 49,000
修繕費	3,500,000	3,500,000	0
印刷製本費	650,000	650,000	0
燃料費	2,190,000	2,669,000	△ 479,000
光熱水料費	9,376,000	10,958,000	△ 1,582,000
賃借料	4,687,000	4,174,000	513,000
保険料	137,000	131,000	6,000
諸謝金	2,091,000	1,952,000	139,000
負担金	125,000	25,000	100,000
委託費	34,162,000	34,572,000	△ 410,000
手数料	459,000	479,000	△ 20,000

科目	当年度	前年度	増減
管理費			
役員報酬	1,336,000	1,314,000	22,000
給料手当	1,901,957	1,872,917	29,040
退職給付費用	311,355	142,470	168,885
福利厚生費	275,355	266,829	8,526
会議費	5,000	5,000	0
食糧費	4,000	4,000	0
報償費	22,000	22,000	0
旅費交通費	120,000	120,000	0
通信運搬費	150,000	150,000	0
消耗品費	331,000	331,000	0
印刷製本費	100,000	100,000	0
広告料	132,000	132,000	0
保険料	360,000	210,000	150,000
租税公課	7,374,000	7,619,000	△ 245,000
負担金	96,000	96,000	0
手数料	99,000	39,000	60,000
経常費用計	154,725,000	150,215,242	4,509,758
評価損益等調整前当期経常増減額	312,000	399,758	△ 87,758
基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等			
投資有価証券評価損益等			
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	312,000	399,758	△ 87,758
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	312,000	399,758	△ 87,758
一般正味財産期首残高	2,678,278	2,278,520	399,758
一般正味財産期末残高	2,990,278	2,678,278	312,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000,000	50,000,000	0
指定正味財産期末残高	50,000,000	50,000,000	0
III 正味財産期末残高	52,990,278	52,678,278	312,000



**収支予算書内訳表**（損益ベース）  
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

（単位：円）

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取 引消去	合計
	野外活動 センター 運営事業	野外活動 センター収益 運営事業			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益					
基本財産受取利息	4,000				4,000
事業収益					
指定管理料収益	102,828,622	1,053,795	9,668,583		113,551,000
利用料金収益	31,364,491	321,425	2,949,084		34,635,000
自主事業収益					
材料費収益	2,480,000				2,480,000
奨励事業収益	239,000				239,000
活動体験事業収益	3,528,000				3,528,000
新規自主事業収益	400,000				400,000
受取寄付金					
受取寄付金	100,000				100,000
雑収益					
雑収益	100,000				100,000
経常収益計	141,044,113	1,375,220	12,617,667	0	155,037,000
(2) 経常費用					
事業費					
給料手当	51,705,753	540,290			52,246,043
臨時雇賃金	7,676,460	77,540			7,754,000
退職給付費用	6,538,455	69,190			6,607,645
福利厚生費	9,124,695	94,950			9,219,645
食糧費	249,000				249,000
旅費交通費	2,228,510	21,490			2,250,000
通信運搬費	922,460	8,540			931,000
減価償却費	381,000				381,000
消耗品費	5,076,020	15,980			5,092,000
修繕費	3,465,000	35,000			3,500,000
印刷製本費	643,500	6,500			650,000
燃料費	2,168,100	21,900			2,190,000
光熱水料費	9,282,240	93,760			9,376,000
賃借料	4,640,130	46,870			4,687,000
保険料	137,000				137,000
諸謝金	2,091,000				2,091,000
負担金	124,750	250			125,000
委託費	33,823,230	338,770			34,162,000
手数料	454,810	4,190			459,000

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取 引消去	合計
	野外活動 センター 運営事業	野外活動 センター収益 運営事業			
管理費					
役員報酬			1,336,000		1,336,000
給料手当			1,901,957		1,901,957
退職給付費用			311,355		311,355
福利厚生費			275,355		275,355
会議費			5,000		5,000
食糧費			4,000		4,000
報償費			22,000		22,000
旅費交通費			120,000		120,000
通信運搬費			150,000		150,000
消耗品費			331,000		331,000
印刷製本費			100,000		100,000
広告料			132,000		132,000
保険料			360,000		360,000
租税公課			7,374,000		7,374,000
負担金			96,000		96,000
手数料			99,000		99,000
経常費用計	140,732,113	1,375,220	12,617,667	0	154,725,000
評価損益等調整前当期経常増減額	312,000	0	0	0	312,000
基本財産評価損益等					
特定資産評価損益等					
投資有価証券評価損益等					
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	312,000	0	0	0	312,000
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	312,000	0	0	0	312,000
一般正味財産期首残高	2,678,278	0	0	0	2,678,278
一般正味財産期末残高	2,990,278	0	0	0	2,990,278
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000,000	0	0	0	50,000,000
指定正味財産期末残高	50,000,000	0	0	0	50,000,000
III 正味財産期末残高	52,990,278	0	0	0	52,990,278